

5/13

16年ぶりの新嘗祭献穀米 田植え式を実施



町内では16年ぶりとなる新嘗祭献穀米の栽培が始まり、田植え式が執り行われました。献穀奉仕者の大塚貴昭さん・玲子さんご夫妻（折渡）所有の水田で行われ、田植えに先立ち神事を執り行って豊作を祈願。その後、大塚さん夫婦を中心に、平井伸治知事や来賓の方、早乙女の皆さんが、献上する「星空舞」の苗を丁寧に植えられました。生産者の大塚さんは「最高の出来になるように、全力で育てていく」と力強く宣言されました。

5/2

歴史と自然を満喫 生山城登山「春の陣」



GW期間中に「生山城登山 春の陣」を開催し、スタッフを含め約50名が参加しました。今回で3回目の企画で、青空の下、新緑が映える気持ちよい天候となり、参加者の皆さんは楽しく登山を満喫されました。生山城は尼子氏と毛利氏が激しく攻防を繰り広げた歴史の舞台で、今も見事な石垣が残ります。山頂付近の見張岩からは生山の町並みを一望でき、希望者は石霞溪にも立ち寄り、自然の魅力を味わいました。

5/19

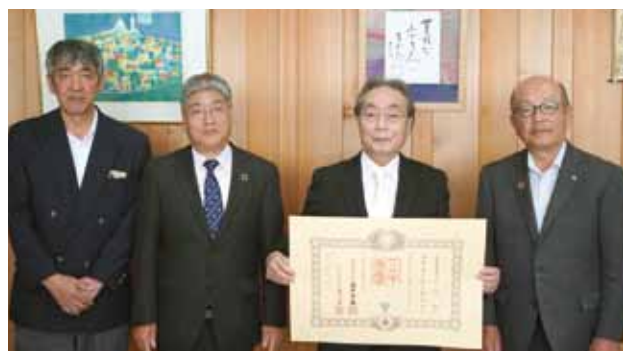
カブトムシの幼虫を にちなん十色に贈呈



エコリビレッジ合同会社の代表・谷口石根（上萩山）さんから、にちなん十色の園児へカブトムシの幼虫が贈られました。同社は、竹害に課題意識を持ったことをきっかけに、竹伐採事業を行い竹チップを製造。カブトムシが育った後は有機肥料として販売しています。竹チップの中にいる幼虫をブルーシートの上に広げると、園児たちは興味津々に観察していました。谷口さんは「自然環境を循環させたい」と話しました。

5/14

春の叙勲「瑞宝双光章」を 受章



鳥取県庁において、高見徹・日南病院名誉院長が春の叙勲「瑞宝双光章」を受章されました。平井伸治知事から勲記と勲章を受け取られた後、役場で中村町長へ受章報告が行われました。高見さんは「喜びより驚きが大きかったが、病院を代表して受章するものであればいいと思った。これからも日南病院の今後を考えていきたい」と話されました。中村町長からは「病院を継続していける体制を整えてくださいました」と感謝を述べました。

